



は せ がわ ただし
長谷川 正

しみん こえ たいせつ かい
市民の声を大切にする会

ネーミングライツの導入と広告看板の掲載を

問 津市にはたくさんの施設があり、それらの維持管理には、莫大なお金が掛かる。

そのため、市内のあらゆる既存の施設を利用したネーミングライツの導入や、広告看板の設置によって、新たな財源の確保を図るべきではないか。



答 ネーミングライツについては、県内では三重県の県営鈴鹿スポーツガーデンや、松阪市の松阪市民文化会館などで導入されており、歳入確保の一つの手法であると考えている。ただ、一定の歳入確保が図られる一方で、これまで親しまれてきた施設の名称を変更すること、また契約更新のたびに施設名称が変わり、分かりにくくなるといった課題がある。市民の皆様の愛着や思いを大切にすることも重要であるため、歳入の確保に当たっては、さまざまな手法を活用し努力していく。

広告看板については、庁舎等の施設の壁面等を活用した広告掲載に取り組み、平成27年度は約1200万円の広告料収入を確保していることから、今後も積極的な導入拡大を図っていく。

●その他の質疑・質問●

- 市内の山間部である芸濃地域から美杉地域、榊原地区など7カ所で、7日間野宿をしながら、獣の生態と獣害を見分したが、大変な獣の数と獣害だった。今以上に獣害対策に力を入れよ
- 三重短大に、津市役所など市職員を養成する学科をつくれ
- 津市には、利用率の低い多くの赤字公共施設があるため、売る・壊すなどして処分せよ



▲三重交通G スポーツの杜 鈴鹿 (ネーミングライツ導入)



くら た かん じ
倉田 寛次

しみん
市民クラブ

小規模校転入学特認校制度のPRの充実を

問 美杉小学校・中学校での小規模校転入学特認校制度は、開始からすでに3年が経過しているが、どれほどの実績があったのか。特認校には、先生とマンツーマンに近い授業が受けられるなど、素晴らしい点が多くあるのに、それが全くPRされていない。せっかく特認校という認定をもらっているのに、PR不足では意味がないと考えるがどうか。

答 小規模校転入学特認校制度の利用者は、美杉小学校で1人、美杉中学校で2人に留まっており、PRが十分でないことは認識している。

美杉地域の自然を生かした米作りやこんにやく作りなどの農業体験学習等、特色ある学校づくりの取り組みが行われていることから、ホームページ上で動画を活用しながらPRしていきたいと考えている。

また、特認校に行かせてみたいと考えているのは保護者であるため、保護者に特認校制度の内容を分かってもらえるよう、学校を通じた周知のみならず、PTAを通じたPRをさらに進めていきたいと考えている。

●その他の質疑・質問●

- 報告第44号～第46号 道路管理の瑕疵・市道除草作業に伴う事故・交通事故に関わる、専決処分の報告について
- 法定外公共物の管理について
- ごみの分別とリサイクルセンターの運用について
- 獣害対策について
- 水難、遭難事故の救助について



▲小規模校転入学特認校である美杉小学校